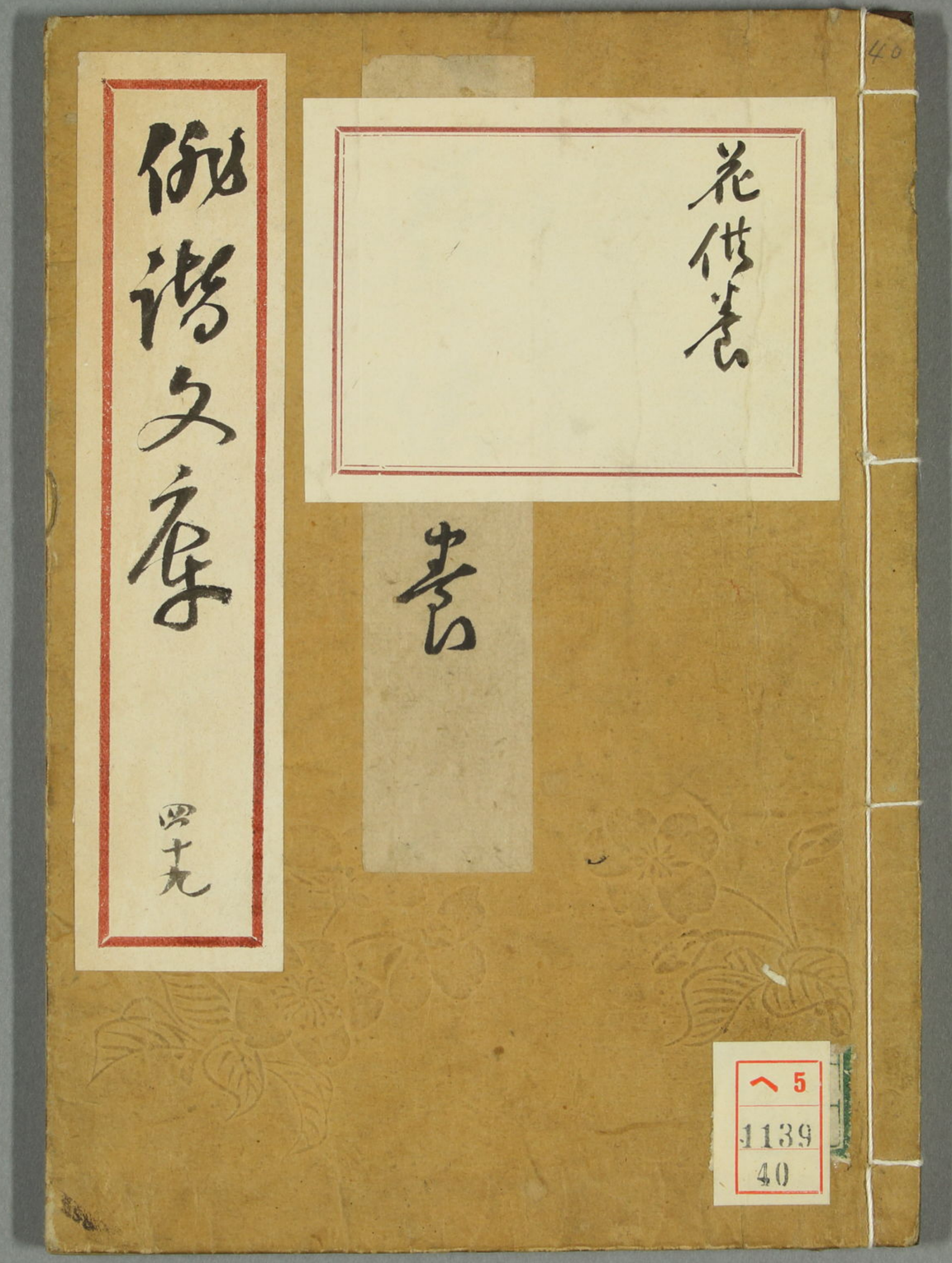
40
花佛著
書
徠徂文集
四十九
へ 5
1139
40

40
へ5
1139
40

家に九条九条野宮家なれは乞ハと
祖中納言ふ縁ありとて元とし
並集筆にわのき紀とし紀伊守ハ
勅撰集に入る人今の世にも年々ふえ
来りより刈さとりても深ふ見て書き
更に人にて知らしきあれと此の頃も要に於て
昔より勝る春とならし　又

一とせも休するもとをしかるべんを
墨とす男の什をを於て梓に
もちもちて学ぶもの志ある人
為とめらはしきを人の一徒なるべしと
時に寄るとおりなる

丑の保生　　高野園主人

元治二年乙丑三月十二日

仙槎之おもひ出

松亭

打とけし新の物がたりの後の後
ふるき世をかたりて日のくれ　公成
整まる年月をへるの地を拾ひ　九起
をもふ田ふるる水の流れ　素時
衆の学ぶ人のとまれる異稿　風尾
陸をかすをもて杖ら〳〵き風　始風
雪千年をもひまるゆる神自　多丈
ものをまくし新作をもて　業女

約束に付て伊勢路野　行義
初年のうき言の年寄　相模
古手めくるこゝろ繁し　佐高
はるゝ日くれぬ傘の紅　一号
紅梅よりさ弁のうゝ掃ちきり　三楓
春雨ものこる軍茶子　杜鵑
幹古く苔にはせぬ　陵岳
うゝ物ゝ物ゝかけうゝ　挑華

右　うゝ尾

席上奉納

疫うゝ物ゝ乳のうゝ　猛　播磨　杉雪

手拭ゝ紅うゝ物ゝ　菜女
とうゝゝ花の咲ゝ　李園
ゝうゝ見うゝ花深ゝ　一号
来うゝ女のうゝ花のかけ　鳳尾
花うゝ　尾張　三楓
咲うゝ日ゝ　芳丈
紅梅枝うゝ花　九紀
殖うゝ来ゝ　陵岳
うゝ月の十二日　相模
初花ゝ月のうゝ　桜　丹岳
花うゝ来ゝ　多岳

[illegible]　東方　淫羊
[illegible]　礼烏
[illegible]　[illegible]
[illegible]　松茸
[illegible]　牡蠣
[illegible]　赤貝
[illegible]　百記　[illegible]
[illegible]　伊勢
[illegible]　山椒
[illegible]　素碎
[illegible]　蕎角

見る一日[illegible]の花　文蛤
[illegible]　紫魚
[illegible]　月桂
[illegible]
[illegible]　花柱
[illegible]　蓮湖
[illegible]　[illegible]水
[illegible]　丹波　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　梅青
[illegible]　梅楽

二三日の間[illegible]
六番の出番の[illegible]

不席奉納之部

不負流行の乳坤の自動車

[illegible]花の枝　年頃　蓬子

[illegible]　梅菴

[illegible]　安丁

[illegible]　升愛

[illegible]　辭月

[illegible]　梅仙

[illegible]　大洋

[illegible]　久吉

[illegible]　義洲

[illegible]　免足

[illegible]　成高（ダイコ）

[illegible]　公成

[illegible]　江戸

牡丹提灯海苔[illegible]　卓扇

[illegible]　秀仙

[illegible]　芳竹

[illegible]　風弦

[illegible]　汁

[illegible]　華見

[illegible]　孝雄

[illegible]　見邦

詠歌
五絃
如瓢
可学

清西
紅霞
洒雄
梅笑
甘藻
小雲
木裁

夾洲
鶴亭
五絃

大和
大出
五概
可仙
木和
竹碎
彩民
青角

画きてやうに伸る蕨かな　寄麥
帆に風のまゝあらかの月　左京 淀國
如月や人の機嫌を宗如して　芳哉
初花もみゆる小家の旅　弘美
撫子や柳の若葉を拂ひたり　普跡
禅室
墓しき櫻も杉も花の鳥　為山
蕉下綠子
眺むきのやうそ草の影かな
藤の葉本の影ぞ何る沈　百朱
着下に掛けし蝶居の糸かな　毬沈

篋拔の有る木形揺きる　寄
鉢への身にもしら清き方　朱
久しう葉のきさらぎしき音　沈
引きし懐紙に柳も散　寄
居酒の肴参いそしらる　朱
通ふ名の宿秋に月もある　沈
木の葉ゆる蝶の築簾にありて　寄
鉾稿の縁きとりし子の影かな　朱
明けもおるうる露も流れ　沈
月もや巨しもの花秋きりし森　寄
弱むらむやうそめし一つれ　朱

[illegible]　沈
[illegible]　象
[illegible]　朱
[illegible]　沈
[illegible]　朱
[illegible]　象
[illegible]　沈
[illegible]　朱
[illegible]　象
[illegible]　沈
[illegible]　朱

[illegible]　象
[illegible]　沈
[illegible]　朱
[illegible]　象
[illegible]　沈
[illegible]　朱
[illegible]　象
[illegible]　沈
[illegible]　朱
[illegible]　象
[illegible]　沈

各十二句

四月ごろ 海をゝゝる山伏 左京 帝菓子

宇治園にて

菓島乃僧の初もて 梅の茶、蕉雪子

ちらくゝあるの光る木の芽哉、 雪夕

武蔵

若ゝあるき探ぶ 若草おまるゝ 完路

雪ゝ消ぶ さゝ 芸之

稲葉ぶ 生ゝる牧乃駒 雪彩

梅の葉ゝ自ゝ 日ゝ 舞史

茶ゝ人ゝ 茶乃ゝ 完明

もゝ 梅ゝ 青 狐 春雪

鶯ゝ 寿道

やゝ 古鈴

妹ゝ 田舎 玉後

上總

八朔ぶ ゝ 蒙古

下総

出ゝ ゝ 春手

上野

彩ゝ ゝ 馬 世井

ゝ ゝ 貴平

紙漉のかゝるにも妻の月　柴雪

初茄子いつまで待ハ手折らん　梅石

大空をまねしまゝし雪の山　鷲雄

涼しさや翅をふかむ稲の秀　呉山

涅槃会や声揃はしき思ひ　其聲

海山も鉄をも起ふ柳かな　半湖

陸奥

旅の日も七日になりや引板の音　烏丘

鶯やほのかに咲もまたしらず　清民

前書

行年のてらん日も出来る梅の花　吐山

青柳やうつむきかける…　瀬風

めでたきとのも青田の…　六桜

米搗く牡丹汚す風寺男　風志

六月や家のやまと人の家　匠人

路の声や…　景河

逃れても又…菜の花　安々

前書

雲の上も月なくても来る小蝶　梳亀

雲雀ハ…啼く雉　汲左

水鳥の…　芽鳩

夷風ふるとも鶯乃泡　江三
野ふかく別くまれる人の妻　詠柳
雲伸く野ふこうとも来こうと　詠松
えうやく別年世界へ出ん　万那
彩とも女松男まりて鶏時　卯峠
人ゆくはるよやとき角カ北　仙民
先くゆふ鶯仏とうの鶏うと　一止
引汐のうとの白ふやはるる時　南部　沼高
隅くも井くあるえの木ひるる　九戸　文来
まるやうはけるるふの塚　竟山
能ふゆれく物のもとうの　布山

西館

先ひとうと梅骨髄の時おれ　故人　草塚
梅受やまくるのとうの黄世張、三子九
雪の来くはるとうえの花の　由几
大猪やけけく梅くしい　徐蓮
梅漆く能せふまくうの妹　竟録
見くくえうやの時后乃能　僧　蓮高
うくくふまうの山移うの　峰時
伊雪や干菓の白ふ野間　菱舟
伊くうくえうの梅の林北　丙中
夫のりや乃稚ちくくうう　葱玉

秋ふかみ　ふるき物乃味　由几

見つるまに秋の雲行手まつ家　葱玉

傳馬のる相撲つゝひの月夜　無外

ほとゝぎす鳴あるゝ麻衣美とゝすする　几

帝都へ急き給ふ人のゝしく　玉

日輝もまして紫雲千歳　和

雪の雲ひとつ湯ゝ玉ふ天　几

芙蓉の芝をほちゝとゝ安　玉

ゝゝ野き娘ゝ如月平　和

ひゝとまゝゝゝ白鷺ゝゝ　几

芙蓉ゝふ金ゝも二ゝ院　玉

ゝゝゝゝゝゝ本の雪ゝゝ釜　和

常ゝゝも五ゝゝゝ梅白ゝゝ　几

小綾ゝ鈴しゝゝの野手ゝ　玉

ゝ別をかゝゝふ板ゝゝ　和

雨ゝゝゝゝゝ新ゝゝゝ　几

歩ゝゝゝゝゝ紅ゝ隅矢倉　玉

御手猪解ゝゝ帝ゝゝ巣　和

まつ撥ゝゝ男ゝゝゝ器　几

抗ゝゝ格の園をゝゝゝ　玉

今も猶屋ゝの家風ゝゝ　和

みなまちを集めつる猿　乗　九
ねてまちをまちとうもの小製猪　玉
新代流を岩ま新まつ　和
年うとく夏もさびしき　花　九
糸仏はひとうやせ村乃墻　玉
義を行る扇子の社律まんを　和
うたく答ふうと医者さまの　九
后の赤も月見の新を持ふ　玉
ねまくふけを釜の言う出　和
桂をを濃き茶行の面　九
弓矢の神紅葉　玉

神元の赤を染る新うく　和
そうう行くの花乃人巡　九
今世の後ん乗のやむ川　玉
咲れとうるく白きけり強　和

各十二句　江指

書翰の為とけるやみうは　素仙
きしやし代遠しる小松山　清石
源をのを社社号を稲者　一野
菖蒲なきを家ゑ林　松前
風遠

[illegible]の附るかたちくさの親　御風
はつゝもゝ一ゝ[illegible]乃梅　素石
我さゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]　風柳

須磨

門岸ハ菜舟ゝ[illegible]　令英
面ゝ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]　小潮
鬼灯ヤ行ハ[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]　左巫[illegible]　[illegible]

甲斐

菜の花のゆゝ[illegible]自ヤ[illegible]　素堂

相模

山ハ唯赤ハつゝしヤ仏生会　一称
伊豆ヤ田作ゝの風行ゝ[illegible]　魚眠
不自由を見ぬ[illegible]ゝ[illegible]梅の[illegible]　素堂

伊豆

墨ゝ[illegible]　波ハ[illegible]ゝ[illegible]　杉宇

駿河

素ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]北斗の光ゝ[illegible]　月麦
夕さゝ[illegible]一箱ハ[illegible]ハ戦きゝ[illegible]　素烟
[illegible]の[illegible]ハ支ゝ[illegible]ん麦の風　悟静
小[illegible]ゝ[illegible]ハ[illegible]ヤ[illegible]　九成

遠江

卯の花や雨に打るゝ須磨あかし　嵐手
涼風の松はけり吹乗らく那　如碩
花楽やし浮きも知らぬ笹ぬれ　鶴鳴
足袋ぬきて立て見るや長の川　秋宇
一枝を持て流るゝとくの本服　嵐蓮
雨もよひに雲を讀む空の稲つけし雲　柳雨
わのうき吹くも鶏よくさ秋風　杜彦
見えくさりも松越ハおもしろ哉　蒼山

三河

艸山やし秋をふるさとへ入るなり　完紹
本ゆくら松山に燃るや春乃雨　真芙

春雨に芝くも出れば繁る打　拾山
秋木くむ書家の花ありり　蓮宇

尾張

枝かゝすは敷も心へするす我哉　家亮
雲あるも日やし遊つゝけりて徒等　桃程

岐阜にて

厳ての旨家伝も北花乃東　静斐
まさら紀やし紅く立き門の色　紀逸
蝶とふやふりかゝけり傘の上　三楓
古今にまをを乞へて
皆をしね子供にならぬ児乃春　参化

春ちかう野辺の人ゑも　流聚
水いまだのどやかに氷は浮かれ　野女
夢も寒ふる枯木の色やかすみ風　蓬雄
遠鶯も多窓ゆるめて花の中　巣雲
二月の雪を捨の雫かな　李峰　李函鉄
折ふせる撫子世を一間うき　弥彦
ゆふべやさきし柳も梨の葉　世芸
蕨屋や花を放れて家遠う　素仙
撫物に花の散りかかる　光花
散残る蕨よりの乃ゐ　玉竜
蛙ふるる立ちぬかるる　圃耕

春ちかう野辺の人ゑも　流聚
二月の雪を捨の雫かな　李峰
蕨屋や花を放れて家遠う　素仙
撫物に花の散りかかる　光花
散残る蕨よりの乃ゐ　玉竜
蛙ふるる立ちぬかるる　圃耕
春の日　蕉雨
二月　李山
都　夷秋
美濃
花の中の山　山士
柳雲　清涼
張　器友
波の月　散壺
小濃の塗　如堂
波の月　蕉庭

無言にて風に別る花の少遥　露出

和歌所にて春雨を題にて詠ける　伊賀

春雨の降りて山の桜花　遥望

伊勢

散ぬとも花の名かとる春の雨　惟宗

石自由にて花の上に散る春の雨　攝家

八重山吹の奥もなき雪の解る時　東莊

神子入給ふ頃の春の雪　寺起

苔の色の薄ふかきけさ乃雪　甫舊

白子観音

清き道い常に来れば不動堂　花宮寺起

稲荷

稲荷の春の日の光　松乃一系　赤雲

多度の春の日の光　玉緒

多度の春の日の光　可庵

昭和の角の春の日の光　家樵

近江

引捨て二度へよるの春の日の光　九條

人まちて今の春の日の光　綾金

鶯の春の日の光　月雪

月の春の日の光　雲書

春の春の日の光　大味

春の春の日の光　白背

貝の春の日の光　蒲生

白露は痩ても庭の花乃香　来友

霧降の杖尾花関の山の菊は宿を
とりて翌日の時雨会の手向せん哉
御のこゝろをとりて初紅葉の古錦を動く　乙也

盛りしの音や荻葉の庭まゐの　清毅
走りけ乃花をけて山姥　呉嶽
痩る月浅ましうひに時くれて　一有
清廣をもて取門にの野し　蛾洞
時ねもの錦を結ひて月を添　
出代りの庭のめくりにみゆる　也

柔らもとより似たる結びの虫　毅
干ても返すね寂しの糸のまゝ　嶽
人の目に餘る鼻毛をのばしたる人　有
うれしいきりに蘭鳴き頃　洞
茶吟してもちとも非りに　也
二階借住の名をとりて月き　毅
堆き展ひとしくさせる綴の書　嶽
古うえるまゝ小役に衛の　有
や紅鮮に咽を嬉しるとる何まゝ　洞
花済人のむさ清人中々　也
舞の外わもふに其の有様し　毅

あるれのくるる浮繁こそり　巌
刹こそのけるる玄光こそ　めり袋　古
はたるも多るよ好む精　進　汎
汎あるふかあるも汎法のり形こそ　也
空はうけてきんこそ　彩
ろうの部切の義の尾きれ　巌
机身ゆるして物ちうれる　古
ちるる形る流法多法繁つるて　汎
只一汎ろうるる　也
時るるる雁も毒きれ法る形　彩
切芽素の居る釜きる　巌

かるるせるる法華しる拐竹　古
町るるきれる寺の毎墨　汎
却雑いの方るの多き性るる　也
腰れやるきて猫掛て居る　彩
宿るきるる光時のるる　巌
るれる入るるるきの井　古
義るる来るるを多仏の遍　汎
墨者の耶式拾ふ麦　細　筆
各七日　独筆一日
書行の動ゝ猫の弘志るる　城汎

清報
一方
吳嶽

乙也
信濃
乾漑
渭川
著象
艾蘋

乾陰
松蛾
姑蘇
烏扇
玉帝
紙月
梅蘇
陝要

前
帝殆
芦原

一株の萱ゆくとしの乃雅　於江

山中

梅うるを吟ずるとて酒の色　就潮

加賀

はんとの色と人の純粋なるを　大菱

第一見ふ牡丹の紅義移うつる　怪雲

風うけて無のうつる地半　象石

義経の星とて五月の面の陸　義経

なくさまの書史の仕とて鄙の　賀石

帳子の紙と新しくて本のゆれ　梅頻

皆て於身わとの日乃ときき　新壷

義の義とて路とて耳うゆを　然平

吟ずるく来ると物うふ春の居　自浦

色もまをとさき鶯ゆく梅の色　北山

見ずるのけしきをまのの春　柳舟

和歌とふもの浦うふ見うる　雨谷

まうをとる鶯きとの春　丹嶽

巣と為うるもまるとの春　能登

吟ずるとほのくと稲の波　矣岡

鶯をとほくと波の上うる　風写

苗代とまと鶯きとの水　吉扑

梅竹

[illegible]　其汀
[illegible]　可松
[illegible]　生芽

越中

[illegible]　井里
[illegible]　柳坡
[illegible]　杉皮
[illegible]　杉坡
[illegible]　清江
[illegible]　和遠
[illegible]　野矣

一[illegible]　立芽
[illegible]　克戎
川[illegible]　急和
[illegible]　幽廉
[illegible]　葦水
[illegible]　和風
[illegible]　石魚
[illegible]　潮山
[illegible]　逸仙
[illegible]　野鶴

越後

[illegible]　琴麿
[illegible]　一
[illegible]　[illegible]
[illegible]　史

[illegible]

[illegible]　市猛
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　古業

蒲[illegible]英[illegible]人の[illegible]長堤　文貞
[illegible]門の柳[illegible]　李朗

馬の書[illegible]　丹波
[illegible]　独矣
[illegible]　旭彩
[illegible]　[illegible]

[illegible]　丹後
[illegible]　一束
[illegible]　[illegible]
[illegible]　江嶋
[illegible]　中[illegible]安

笹の葉に露まさるや萩小紅哉　不壺

椽先の芸てらしけり蛍かな　委周

地に朧すゝ竹の下透く紙の夜　丹慈

うら川なれば藤も流るゝ春の川　秀和

但馬

菜の花やしら露に一生哉　秋孝

梅ちらる気色もすゝ孫の宿　如旭

春風やしほれ気の臥乃梅のゝ　晴拴

蛙のいろ〳〵鳴しやうら月涼し　英山

晴るれはさき日御ゆかしまつの[illegible]　清好

たんほゝや郵で陳の[illegible]行かな　和楽

きのふより寒き秋の日影かな　標梅

まつ沖に帰る舟行月　杉人

因幡

蓬生てふ楢の若芽も春の日　函蒄

磯なれや出ゆく出る塚の蔭　巴大

伯耆

角に結ひけさやうこ康の都　芳蔚

さくしよに思ひて届きし君　柳圭

出雲

月の雲ありしさうに去まれ気　秀[illegible]

明ちゝも藤の河かな[illegible]　和拴

葉のもりやし　麥笛うつゝ中の鶯　三枕

梅壹

老ぬ松　ゆ　孤

海とうん　けう　乃と　艾松

和うの水　おうし　を　金　壹

傳ふ　吟　ふ　神　童

夜ひ　ふ　ふ　ふ　の　菱　松

松　ふ　ふ　ふ　し　ふ　ふ

今　い　ふ

傳ふ　ふ　ふ　し　ふ　ふ　艾　ふ

ひ　ふ　ふ　ひ　ふ　ふ　松

今ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　神　梅壹

石見

鶯　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　鶯里

鶯　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　鶯居

一　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　梅日

播磨

ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　松彦

初　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　乙岳

松　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　一史

ま　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　一思

ま　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　矢嵐

秋の川[illegible]哉　歌笑

声[illegible]　然哉

思はれ[illegible]色深く[illegible]哉　瑠之

[illegible]梨の花　梅六

[illegible]　十二才 [illegible]

小魚も[illegible]色　西坡

淀川にて

曳舟の綱も[illegible]　古谷

[illegible]　小梅

[illegible]郎公　世来

鶯の[illegible]桜哉　京也

浅茅生や[illegible]　芦道

[illegible]萱の[illegible]　桑生

[illegible]　多池

[illegible]古木の宿　嶋く

[illegible]

戸の[illegible]波　[illegible]

倭前

[illegible]梅哉　玉芝

[illegible]　對玉

[illegible]舟縁哉　勝民

夏日遊河

岸ふる夏の水かるひろ　備中

いろくのもちとる秋の雲　信濃

雲ても雲物ふる夏の雲　安芸

五月雨の雲ふる船の船　三車

雲ふる風かふる雲　柳雲　狐雲

法華ふる古寺の夏の涼　周防

蛍ふる夏の夕　道味

蛍ふる夏の夕　松久

陽炎ふる鬼ハ神けの夏の夕　猿石

樹のうへの蛍ふる夏の夕　素見

蛍ふる夏の夕　豊前

蛍ふる夏の夕　雪格

海ふる山ふる夏の夕　豊後

夏の夕ふる夏の夕　春谷

夏の夕ふる夏の夕　春山

夏の夕ふる夏の夕　春山

菜種ることしも春の川　可梁

何となく梅に里の二月哉　佳翠

曙の月梅の香ふかき都かな　一雄

夕月のもえて曙ややむ柳哉　翁雲

黒髪に往来の花のおくれ髪　辰月

引鶴に黒き空ありてとぶ鶴　梅主

梅が香に末を寒へて　銕苑

曙しやしかし元日の名もしきかな　停雲

水のめ雀の飛ぶて宿の月

摘井

窓の外もしき梅の白ひ哉　雨村

ぬるみしもあり山井や春の月　蘆園

石出ても蘭色見せてたる水　寛鴻

炭俵さ宝の縁も寸にかな　粒清

萩やな小雪をちらし枝梅　秋波

静甫文

やまざくら人の在る桜か雪のとき　河丈

露の秋のし時雨　敖扇

野の茂や雨ささの花盛　春坡

蹄乃来よ梅の風　不驚

新蒿ぞ梅花　梅園

雪解や青草さげし池の中　蕊石

闇を春く梅花　嶽水

[illegible] 諫国士　石友
[illegible]
[illegible] 猫の意　呉石
[illegible]　籠前
[illegible] 宇逸
[illegible] 宇甲
[illegible]
[illegible] 鳳尾
[illegible] 赤丈
[illegible] 吉十
[illegible] 逸

中[illegible] 有角
[illegible] 鼈夷
[illegible] 逸逸
[illegible] 斜松
[illegible] 跨〻
[illegible] 宇嗣
[illegible] 吉義
[illegible] 魚川
[illegible] 嵐巴
[illegible] 宇峰
[illegible] 吉和

[illegible] 芭蕉
[illegible] 蘭秋

涼しき川にうつる

帆のかけをうつやきかけの芦の葉　一色
空とうんでとぶかりも　秋水
日ちかきよるの秋　柳葉
相つ紫檜つ　吉雄
探ねし外ぶ　横園

[illegible] 飛坡

まのゝ鶴くもとうつふ　月人
[illegible]の陰ゝ[illegible]の月　[illegible]

肥茶

仕舞ふ生[illegible]　史敬
情[illegible]　路雲
[illegible]　市[illegible]　紫宣
つ[illegible]　才仙
河骨や[illegible]　麦風
橋[illegible]　保久
[illegible]　志山
[illegible]　麦紫
[illegible]
[illegible]
[illegible]　山敬

杞堠

露ちるや荻に見る細き野　去來
稲かりて水ゆく秋の霧立て　文鳥
まつ虫の啼止む声しきりの國　秀常
折る身の寸みぢかき乳くむ母や　正燕
卯の花や膝よせりし雲月極　稲波
薪つむや湯わく手きり春の夜　而水
目に立つや来て営む人の氣　旨舟
縫帋の白き橋ならく夜更　文志
消えて人に風行る枯野の秋　一斗
峰の経清き寺ぞ尽きる軒端　三子

雲影のこれ見えり田の畔鳴　起月
行きしほ河ゆく雪の影のうき　梅園
山路来てまず駒ひき峠哉　几雪
通りし無人で垂る庭の雛の家　去暇
清きる夢幾重かる水梢哉　种淑
今ゆるや初老で洞る年の暮　梅窓
暁しも語る庭の舞て帰　超甫
惜み見ると花ぞ淀流つ立夜哉　素鶴
来ての蓑の伸し程延貝影の秋　秋浦
ありし河原で鳴る花の道書　綾繹
花まだ枯草の木未とし子来　玉岩

一羽の鳥影ふかく初秋の
空の雲
嗜翁と白髭翁の
素丈
霧の中に遠く牛の
鐘馗
夕日の陰に蓮の
物思
夜毛の陰に新しく出し
物語

同中一本寄

寄の陰に小鳥ひとつ鳴き
寸盛
海に蓮の葉の舞ふ夕日の
舍文系
紙に朱の文字の
文正
家に子の泣く宵の
天竺山函

日向

去る日の時雨ふる時
雪田
山に生きし人の立ち居
魯邨
雪の中一人の机の
雪路
雪に紙の山のまこと
素峰
屋に雪の果てしの
雪谷
代食の赤き実の巣に
里海
行く人の笠の
梅園

乾嶽

花ひらく赤色を形にて鳥
嶋
和歌の紙の
流危
竹の中に風を
嶽

本の志ゐたるもの耳　巵
[illegible]日の雲　嶽
[illegible]紙　巵
後の[illegible]毎よりたる野もの形　嶽
[illegible]ふ[illegible]みて[illegible]　巵
遷宮も[illegible]如[illegible]東よりうるる　嶽
弘めいきもの[illegible]　、
同[illegible]わう[illegible]の[illegible]　巵
[illegible]ふ[illegible]　嶽
人[illegible]ふ扇の[illegible]　巵
世の[illegible]　嶽

姫[illegible]領[illegible]毛艶の物[illegible]よ　巵
根の[illegible]　嶽
重修[illegible]陰[illegible]物[illegible]　巵
代[illegible]山田[illegible]　嶽

右一枚

[illegible]　流巵
百[illegible]新年[illegible]日の宗　乳嶽
大隅
[illegible]　可有
市俗[illegible]　孝朗

意猫の情つゝみ身を忍び
ひゝきを風のよゝ靡ふとゝ
雀ゝ月ふけ身を乃尾
見えぬ人命一元の中

一風　九花　面影　薫州

麓

梅尾　鞍山

對馬

夢覚を家ゝ花ゝ
袖ゝつゝ高ゝ
杉苔のゝ月ゝ

妙風　琴古　藁山

此色を分る深ゝ山の美ゝ
彩ゝ一ゝ入る紅ゝ
きゝゝゝ桜ゝ
深のゝ彩ゝ

鶴音　金山　一瓜　秀富

壹　彼

眼ふゝ乃ゝ
ゝ

樣秀　法孫

寄月の八ゝ
一日ゝ彩ゝ
ゝ花ゝ
美ゝ

卯　隆　蓋北　湖松　雪谷　梅雅

阿波

右一
雪篠
右麦
俳有尾
古丁
吉琴

米麦
蕎麦
田稗
可風

雪篠

[illegible]
一所
赤田

讃岐

杉麦
巳山

伊豫

[illegible]
田稗
松園

土佐

[illegible] 元史

紀伊 黍丘

大和 [illegible]

可成

院我

松浦

和泉 [illegible]

千金峯の紅白羽織とも

[illegible] 玉仙子

[illegible] 三[illegible]

[illegible] 如多

[illegible] 松子

河内

玉簾のうちの [illegible] 墨河

[illegible] 墨山

[illegible] 墨灣

摂津

[illegible] 簡卜

[illegible] 春石

[illegible] 可寿

[illegible] 曲年

大阪

大和路の緑の初まるを
初見して
時雨して
紅葉するを
紅葉屋の
杉風の
カゝ井戸ふ
中ゝ
小杉
静さ

湖水
麦金
鄙遠
甚臺
孤柳
赤き
知風
菅原
井賀
時き

たゝきうと
凍る
笠も
日毎に

風雲

人
笠
うゝの
氣
十三
酒屋

立春
春の
春の
春の

以
杜鵑
杉
京原

出川
可白
松艇
可良

題詩文　長江

言の

相林

松朗

[illegible]

本甫

山堦

荊童

[illegible]

茅房

[illegible]

[illegible]

行之

成高

道弦子

有岳

柳堤

漁藻

久嘉

[illegible]

姑風

淡言

文海　蓮湖
蓋梅　一雅
蓋流　月樵
為雄　作為
牧西　波回

冥々田のもとうち梅雲雀
野里のゆハ見まうをれ　中
里ゆるの家ハ孤をのさらの
陸ゆして寄を梅乃花
寄里ゆ義をるの言
捨雲ひゆりゆ梅雲雀
赤土をこりゆ
ゑるゆ人の雲雀
ゆをゆ雲のさうゆ流れ著
ゆうを陸ゆ白ゆをめ
蓬雲や雀地ゆ枝の先

無魚
針悉
碎月
大洋
梅郷
川雄
翠恋
雪歌
溪梅
為丈
赤甫

小原四郎の精白御米　壁池
見元をさしたる乃風　御方
池より野ふる陰なるかの水　礼烏
梨子柳より芽ふる日和なり　蓮烏
茶山なる海の沼　柳なる　松鶴
打ちの物より　有瓶
花ひとの命ふの田なる　峰雄
　嘲　荘子
蓮もなる茶やてふ乃晩なる　春海
山人　昨のつくふ世の柳　烏岳
梅雨なる柳なる　雄彦

まるのやしなるのれ物ハ安も当を　春茶
高なるも生なる行なる遅なる　梅陽
西とめる芸なの方　杜鵑
まるの北なる　栗女
川なる人のなる重なる　栗女
茅部しなる日永乃なる　素破
碑なる西なる　歳彦
茅なる花ふやなる　山真
茅なる又の花ふ　行義
枝なる高なる　梅楽
谷なふなる　哭め

[illegible] 九紀
[illegible] 弓成

[illegible]

[illegible] 竹茜
[illegible] 子治
[illegible] 千クロ 鈴重
[illegible] 上毛 [illegible]

[illegible] 治 青葛

附録

若葉會

豊后松留社中
慶應紀元
乙丑四月八日

東河

[illegible] 石友
[illegible] 数月
[illegible] 莨邨
[illegible] 晃空
[illegible] 七生
[illegible] 風我
[illegible] 芋六

本業のならぬ穂さき抜うたり　一貫
素直に縫ひ婿は柳まで家紀　糸眉
勝ちふうものえ手とて涼しき紀　雁奴
鬼の草の門認めえてかる　津江
掛乞乃洗米はなく取大雲中　柳交
月と花ふよ香りに松のふみ　半風
春はれ錺ふるすりの世うし山　天老
卯とちり合歓乃きさえ門り　一糸
洞庵み左支手縁をいろはて　汲善
錦乞の棧乃うら息ちよ　岩浩
息あなたふ方のちまの旅をとり　松左

詳ひらけんとしより親の目　素路
中のうち此を断る乞の村らき　丹楼
蝶はおもうし舞名きしき邑　貞斎
飯の子の村明けぬれきぬしく　千碎
おもふた来ぬるの残る結　長緑
管籠は皆めんとあり三重　扉舟
白波綿る津戸の雨かとし　松年
稲荷の狐あり門の埋ときり　竹禮
気のは仕様ありて菜とし　雅雨
近う里かなし名庵のけやうき　営嶋
何よ盛りは家ま玉あかり　完菴

[illegible]

松丸
[illegible]
[illegible]春
三[illegible]
大雪
[illegible]
馳郷
元菴
汲[illegible]
[illegible]

[illegible]

東河
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]　石　[illegible]
[illegible]　如　[illegible]
[illegible]　杉　[illegible]
[illegible]　奇　[illegible]
[illegible]　杉　[illegible]
[illegible]　凡　[illegible]
[illegible]　杉　[illegible]
[illegible]　糸　[illegible]
[illegible]　一　[illegible]
[illegible]　糸　[illegible]
[illegible]　糸　[illegible]

[illegible]　仏　[illegible]
[illegible]　芋　[illegible]
[illegible]　萱　[illegible]

月球地球表面

[illegible]　石　[illegible]

○

[illegible]　加

[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

蓑市場の時雨の音ばかり　京伊勢　勢雄
桜さかせて添くやうなる　大村　三峰
雲は谷門をまもる更衣　、　玄天
ひとうきる年の名残や徒の琴　、　稲舟
初年ふまさうちなる仲　、　松里
側ふあるかをを法や如師忌　秋田　志生
紅葉も知るをいつまよ冰室也　、　定机
菊の鼠の眼ふとまもる芙蓉哉　、　尤右交
其下ふ我あるふるふる見事　アキ　二川

花鳥雲集追加　大尾